

東北大学におけるダイバーシティ推進： 皆が輝ける大学を目指して

田中 真美

東北大学副学長（DEI推進担当）

東北大学 DEI推進センター長

医工学研究科・工学研究科 教授

「社会とともにある大学」としての東北大学

2

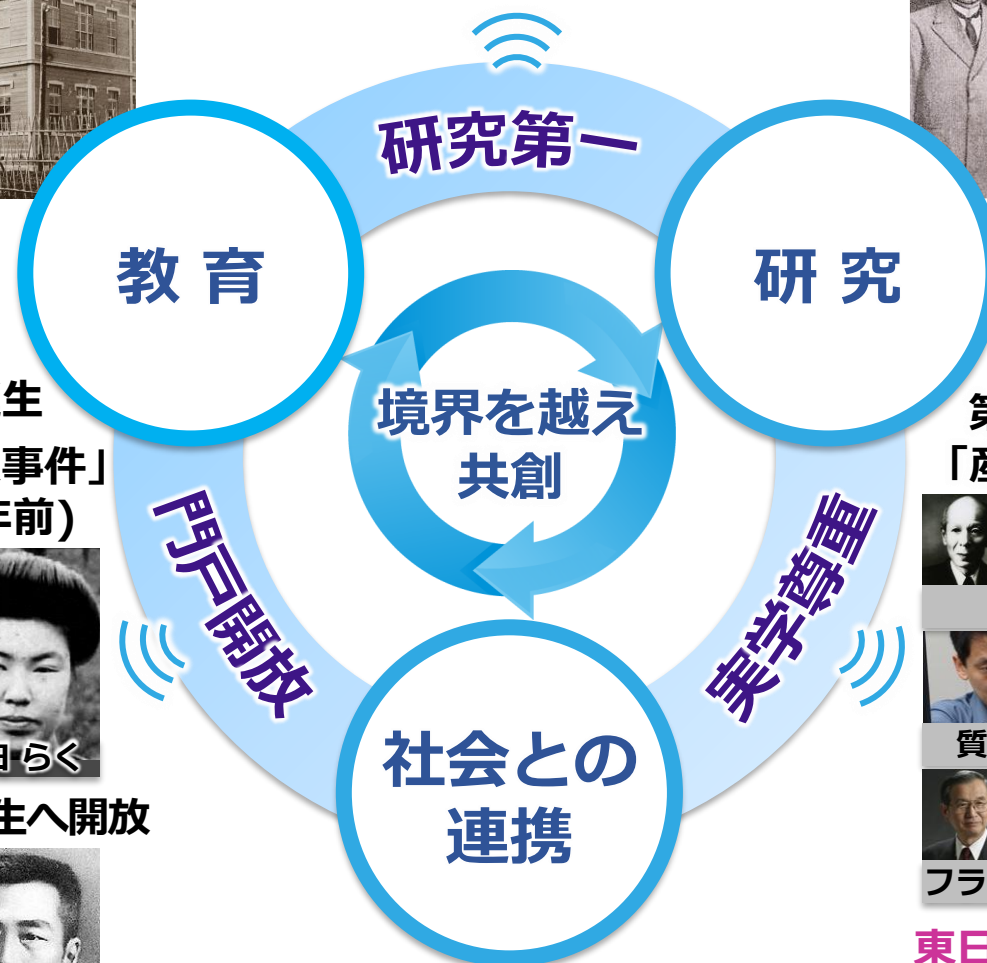
1907年 東北帝国大学の創立
三番目の帝国大学



「仙台は学術研究に最適な都市」
アインシュタイン, 1922



研究と教育は車の両輪



多様性を力に

日本初の女子大学生の誕生
「女子の帝大入学は重大事件」
文部省, 1913 (111年前)



専門学校・師範学校・留学生へ開放



民間および自治体等からの
寄附を受けて創設・発展

社会価値を創造

第6代総長 本多光太郎
「産業は学問の道場なり」



東日本大震災からの復興へ
貢献、大学の社会的使命を
構成員が強く自覚, 2011~

2024年
国際卓越研究
大学に採択



THE
世界大学ランキング
日本版

第1位

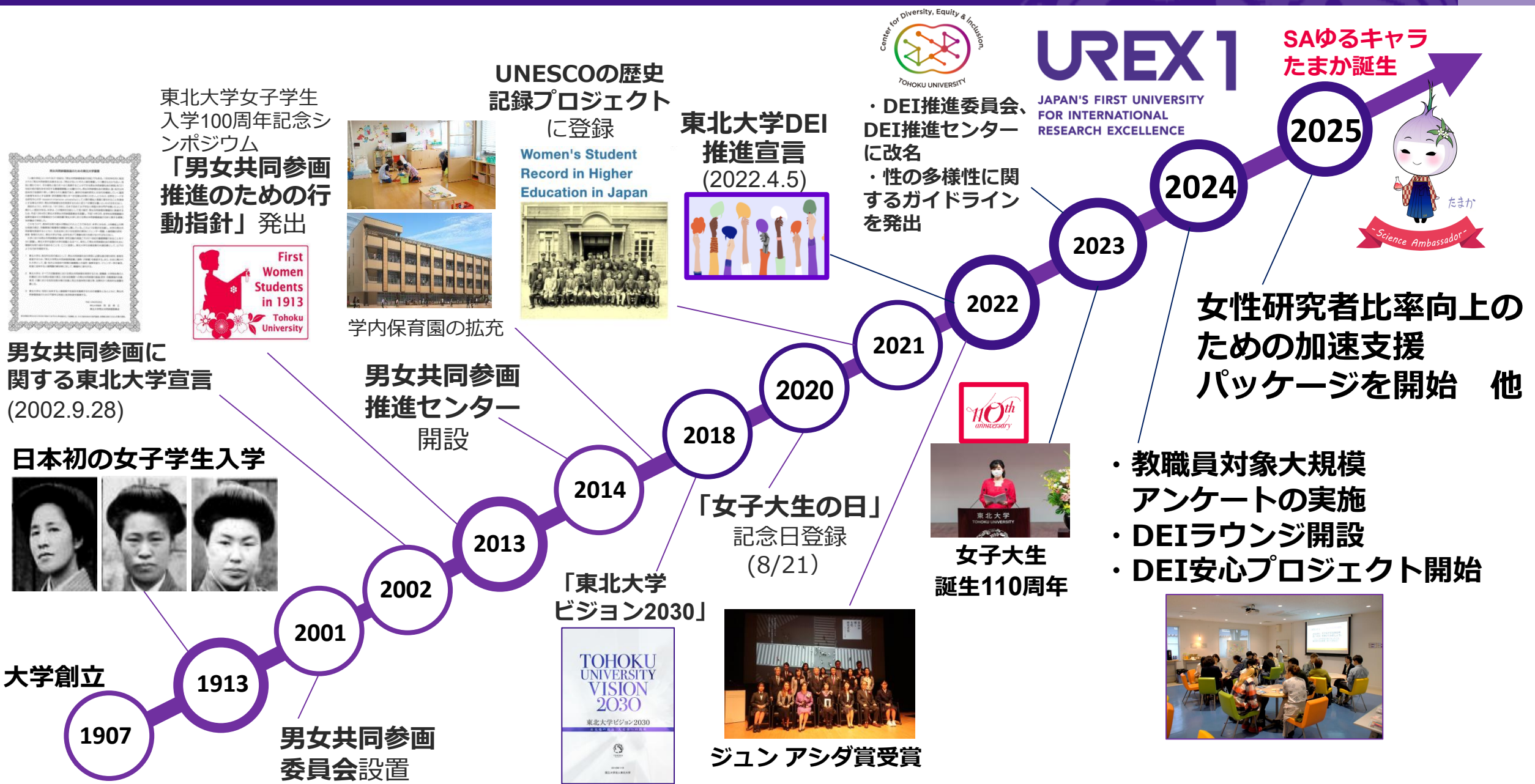
5年連続



高校からの評価

2006~2022年までで
総合1位を15回

東北大学におけるダイバーシティ推進の歴史



UREX- TOHOKU

Japan's First
University for
International
Research
Excellence



EN / JA

国際卓越研究大学 第一号の挑戦

東北大学は、2024年12月、日本初の「国際卓越研究大学」に認定・認可されました。「国際卓越研究大学」とは、世界トップレベルの研究を行い、その成果を社会や経済に還元できる大学を国が認定する新しい制度です。東北大学はこの第一号として、これまでに重ねてきた歴史と国からの支援を原動力に、大学改革を加速させ、卓越した研究、人材育成、そして社会との共創を通じて、未来を切り拓いていきます。

3つのコミットメント

本学は国際卓越研究大学の体制強化計画において、3つのコミットメントである、Impact（未来を変革する社会価値の創造）、Talent（多彩な才能を開花させ未来を拓く）、Change（変革と挑戦を加速するガバナンス）のもと、世界の研究者を惹きつける研究環境や全方位の国際化などの6つの目標を達成するための19の戦略を提示しています。

1. Impact

「研究第一」「実学尊重」の建学理念、さらには東日本大震災での課題解決の経験に立脚し、研究の卓越性を妥協なく追求することを通して社会価値を創出します。

2. Talent

既成概念を打ち破り日本で初めて女子学生を受け入れた「門戸開放」の精神を踏襲し、世界から多彩な才能を惹きつけ、その力を開花させ、人類の未来に貢献します。

3. Change

目標達成に向け変化を恐れず大胆に挑戦する決意をもって、経営およびガバナンスの高度化を図るとともに、将来を見据えて不断に見直し、継続的に改革します。

→ 東北大学 国際卓越研究大学の体制強化計画

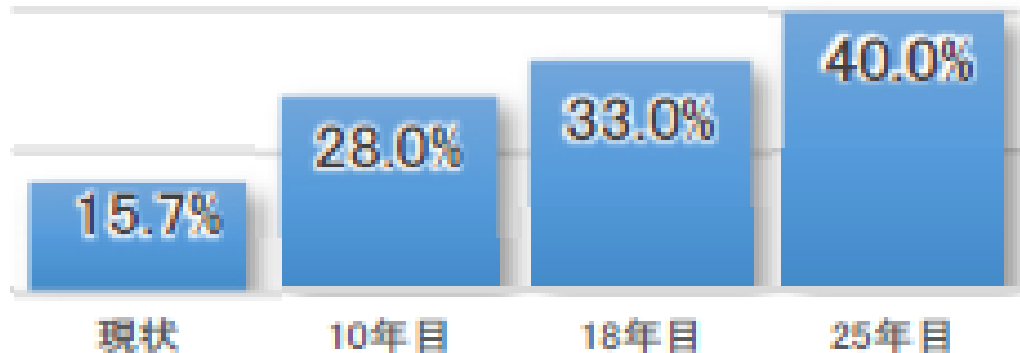
各公約に対する目標

- Impact** I-A Research Excellence 国際的に卓越した研究エコシステム（学術的インパクト）
I-B Impactful Research and Innovation 世界に変化をもたらす研究展開（社会的インパクト）
- Talent** II-A **Campus for Aspiring Minds** 世界の研究者を惹きつける研究環境
II-B Gateway to New Venture 世界に挑戦する学びの創造
- Change** III-A Full Scale Global Readiness 全方位の国際化
III-B Responsive and Responsible Governance 機動的で責任ある経営とガバナンス

目標II-A Campus for Aspiring Minds 世界の研究者を惹きつける研究環境

重点KPI：外国人研究者比率、女性研究者比率、PI研究ユニット数、PI対象教員とスタッフの比率、国際対応のあるスタッフ比率

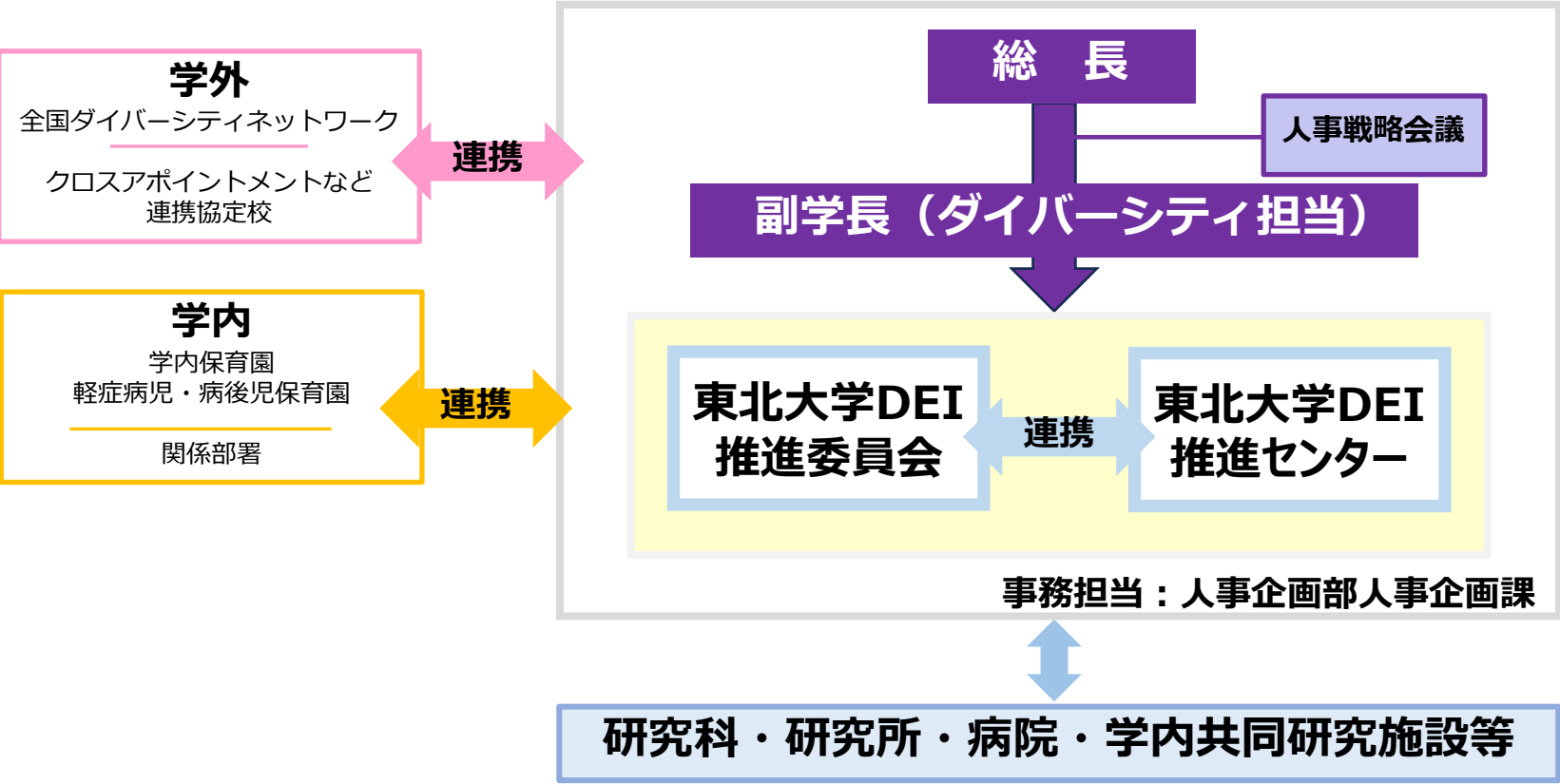
女性研究者比率



欧米の大学、海外の大学は40%超えや40%程度
(日本全体は2022年度、17.8%)

東北大学の女性研究者比率（2025年5月1日）

全 体	20%
教 授	9%
准教授	14%
助 教	28%



**【人事戦略会議】
(2019～)**

議長：総長
副議長：プロボスト
委員：理事・副学長、総長補佐、事務機構長、各部長
戦略的なダイバーシティ研究環境の整備・推進を実現

2019年～
戦略的人事の促進に係る支援制度事業
- 3分の1ルールを実施
- インセンティブとペナルティの実施

2025～
上記支援事業も含めた、新たな
取り組みを加えた**加速支援パッケージ**をスタート

2019年～ 人事戦略会議が設立され、戦略的人事の促進に係る支援制度事業が開始され

- ー昇進の差額を支援
- ースパウズプログラム
- ー若手女性・若手外国人特別教員制度（採用の支援）

年1%の増加を継続

2025年～上記支援事業を継続しながら、新たな取り組みを加えた加速支援パッケージを開始

新たな取り組み

女性限定ヘッドハンティング

- ー超優秀な女性教員を確保（国際卓越研究者として部局に別枠の措置）

全学をあげての女性限定国際公募

- ー本部から新たな枠を用意（外枠）
- ー東北大学の女性教員の構成状況に鑑み、上位職の採用に注力
- ー教授・准教授においては本部からの人件費は、部局の希望通り（年限制限なしも可能）
- ー各部局が十分に考えての公募要項や選考
- ーテニュアトラック制度も利用可能とし、テニュアを獲得して昇進する場合は一つ上の職位までの人件費も支援
- ー3年のスタートアップ研究経費（教授には若手教員の採用分も配分）

年10人程度×5年
50人増加を目指す

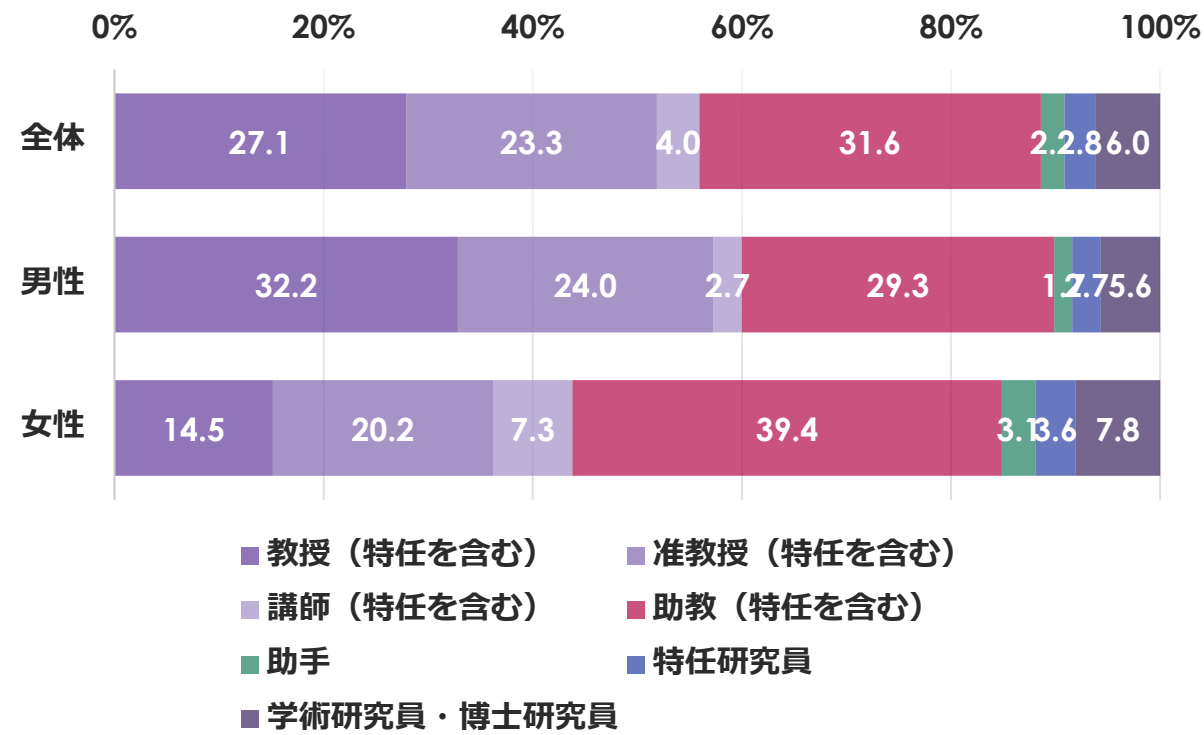
優秀な女性教員を
採用し育成する

全49問（属性（研究分野、ポジション、学位、出身地、年齢、子供の有無し性別）、時間の使い方、働く時間、在宅勤務、仕事の特徴、働き方、仕事と家庭の両立）

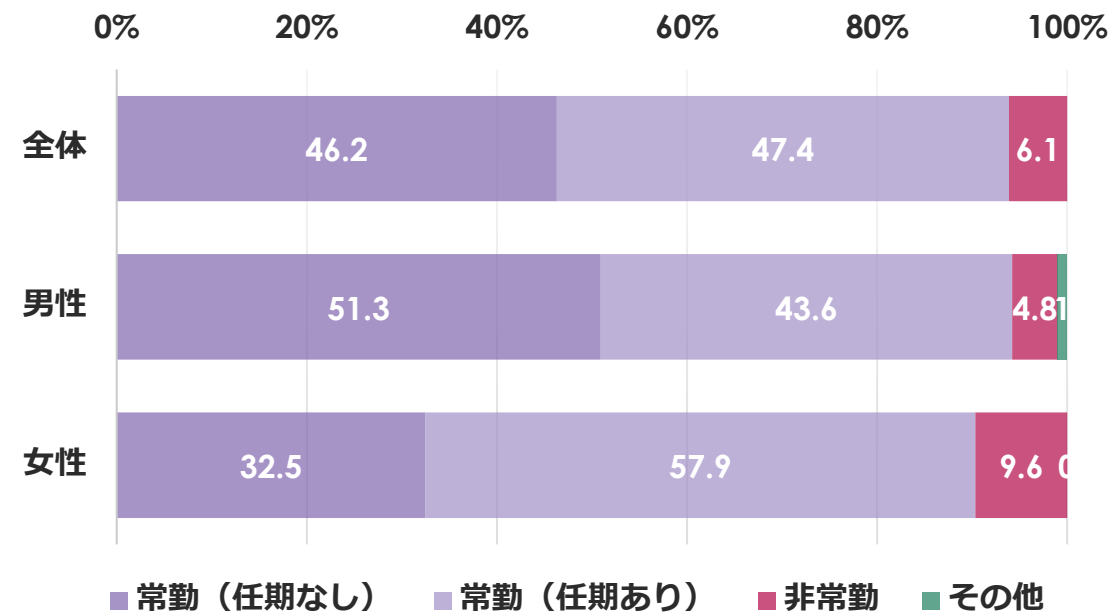
全教職員＋特任研究員、博士研究員、学術研究員の4707名中645名回答⇒ 13.7%の回答率

日本国籍研究者4197名中の回答率は12.8%、外国籍研究者510名中の回答率は21%

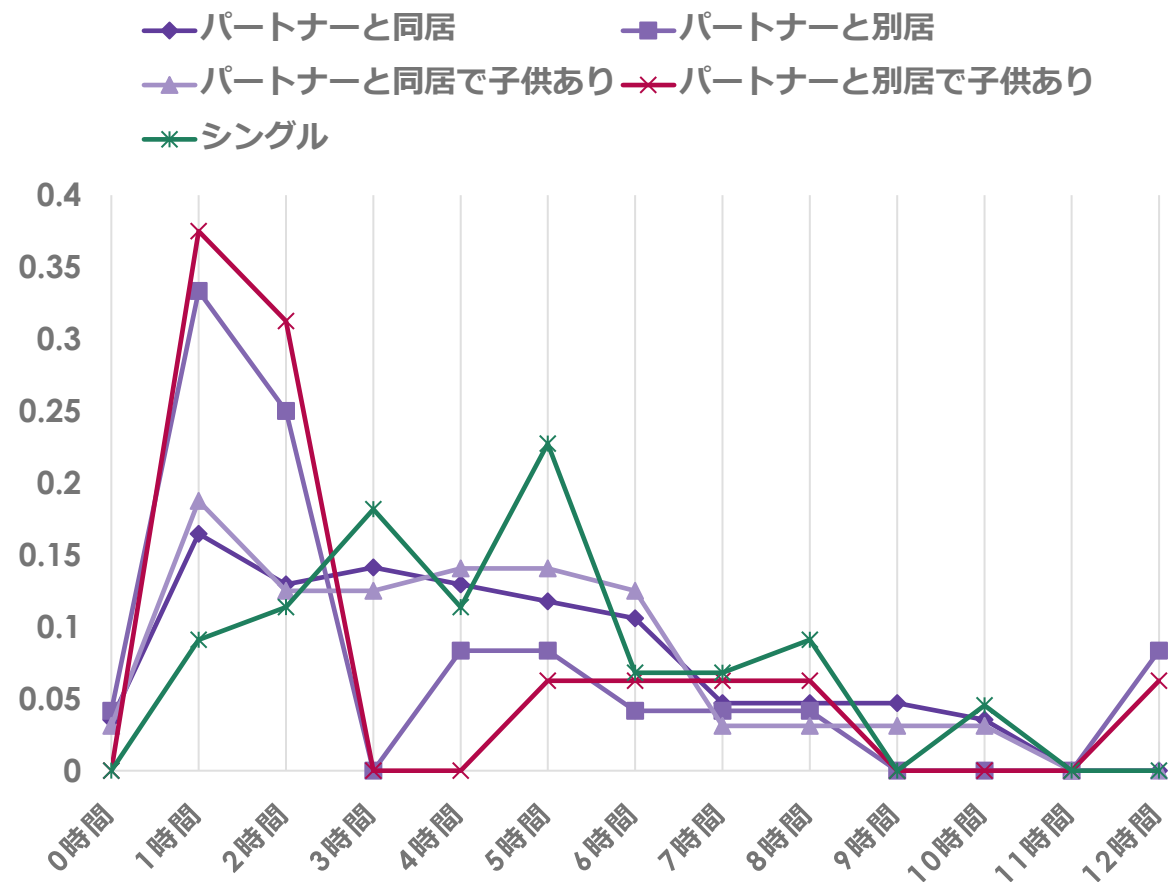
職位



雇用形態

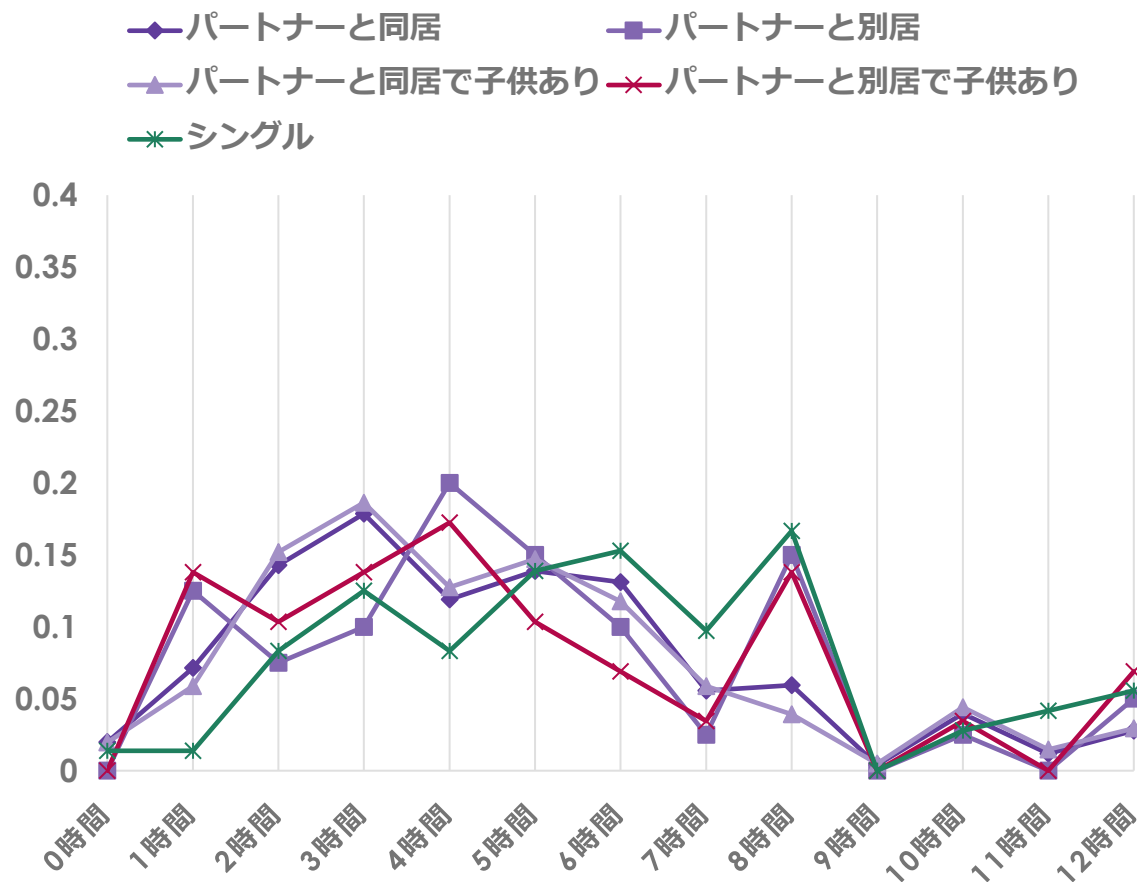


女性



女性は、パートナーと別居、パートナーと別居で子供ありの研究時間は1, 2時間にピークとなっている

男性

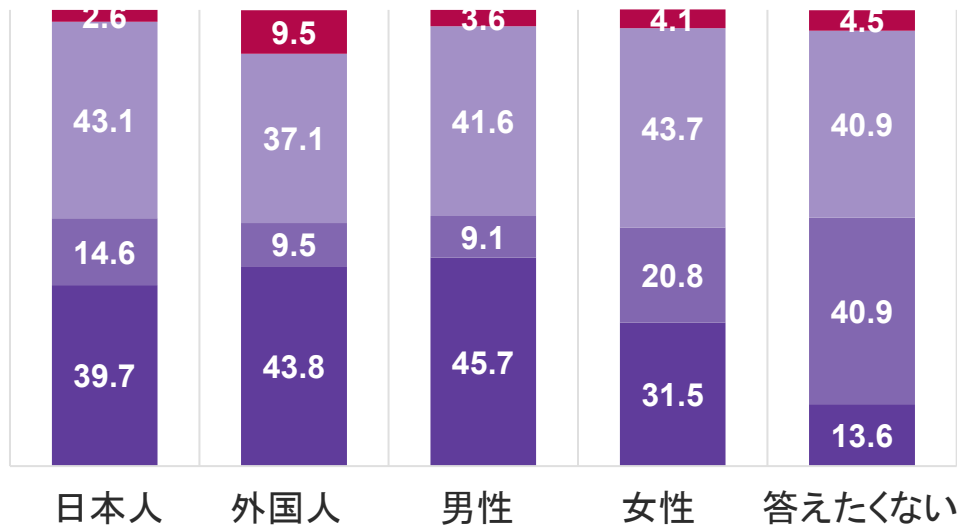


男性は、どのような方でも研究時間にさほど変動がない

ハラスメントや差別について

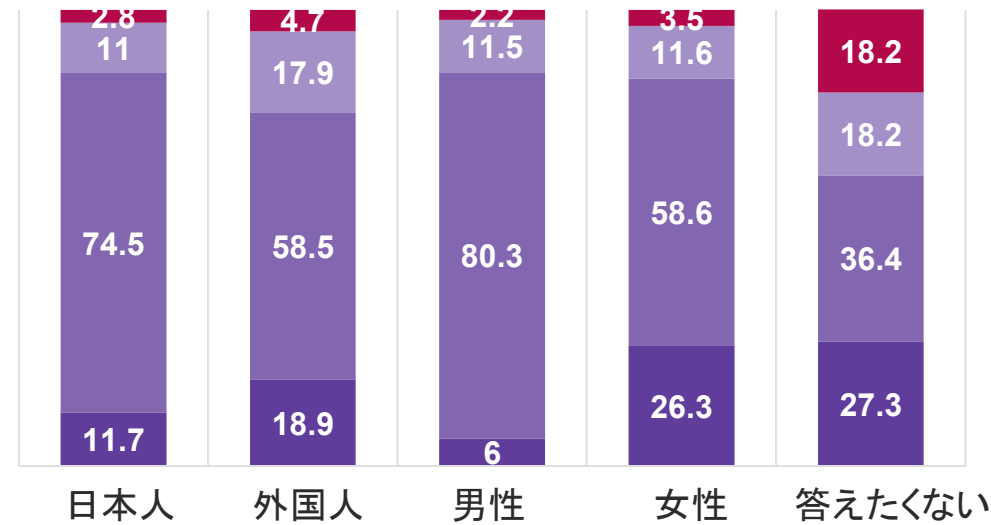
■ はい ■ いいえ ■ 分からない ■ 答えたくない

Q.私は、いじめやハラスメントの事例を安心して報告することができる



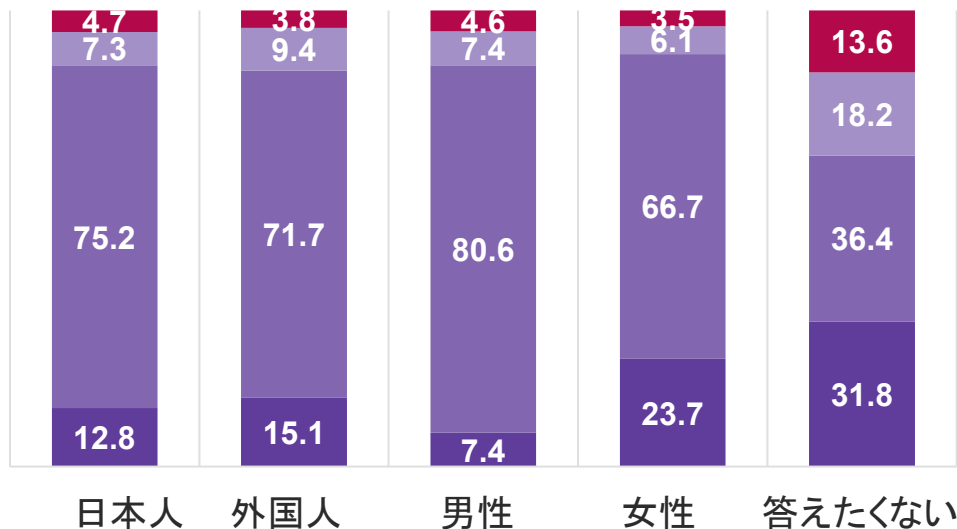
Q.仕事中に個人的に差別を感じた

■ はい ■ いいえ ■ 分からない ■ 答えたくない



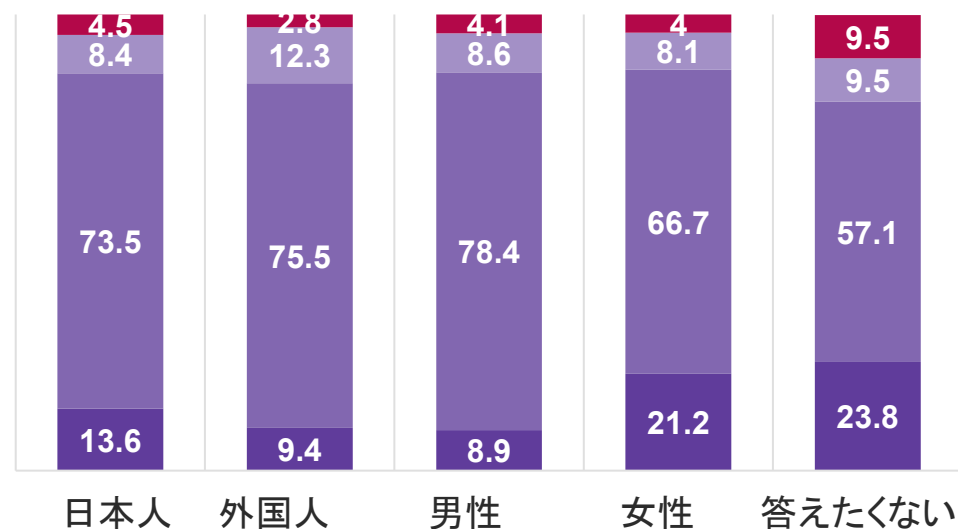
Q.個人的にいじめや嫌がらせを受けたと感じた。

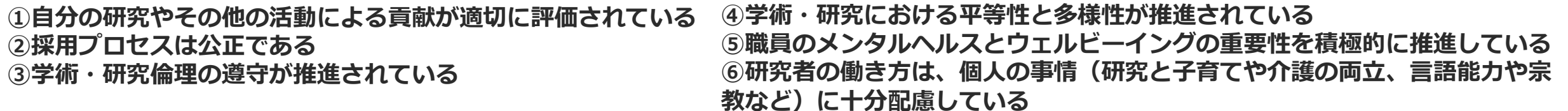
■ はい ■ いいえ ■ 分からない ■ 答えたくない



Q.研究水準や誠実さを損なうような圧力を個人的に感じた。

■ はい ■ いいえ ■ 分からない ■ 答えたくない





- ・ DEI推進に不足していること
- ・ 東北大学の教育・研究環境や設備、各種の支援・サービスについて、改善して欲しいことや要望、大学にして欲しいこと

DEI推進を行う上での公平性の十分な検討とより広範な層でのDEI支援、
DEI推進のための支援制度・サービスの周知徹底

研究時間の確保・創出、働き方改革（時間外労働への配慮）、事務・技術業務
の適切な人員確保

国際研究者への言語サポート強化と環境整備、国際性向上に資する施設の整備

その他諸々・・・

**真のDEI推進のためには、DEI推進センターやDEI推進委員会だけでなく
他の部署とも連携して課題に取り組む必要性を確認できた**

スタートアップ研究費



女性リーダー育成
新規採用の女性教員に、研究スタートのための研究費を支援
○新規採用の女性教員(助教以上)

R7年度
スタートアップ 30人 28人採択
前年比1.43倍

ネクストステップ研究費



女性リーダー育成
新規の研究課題の遂行や、研究成果の公開に必要な研究費の支援
○女性教員(准教授、講師、助教、助手)
○科研費に申請して、結果があることが申請要件

R7年度申請数
ネクストステップ 1回目 30人
前年比 1.5倍
2回目 21人
前年比 1.9倍

研究支援要員



両立支援・女性リーダー育成
研究支援要員雇用のために必要な人件費の補助
○出産・育児・介護等を行う教員・技術職員(男女)
○国の審議会委員などの要職に就く女性教員・技術職員

R7年度
研究支援費 53件 前年比 1.36倍

ベビーシッター利用等補助



両立支援
研究・教育・職務と育児の両立に必要なベビーシッター利用料等の補助
○育児を行う教員、技術職員、ポスドク、事務職員、博士学生等(男女)
○長期休み機関の利用仙台市に登録している個人シッター、一時託児の利用も可能

R7年度
ベビーシッター 12人 前年比 2倍

男性職員が利用可能な育児支援制度

出産養育休暇(産前から1歳まで15日間有給)
出生時育児休業(出生後8週以内28日間無給*)
育児休業(3歳まで申し出た期間無給*)
*別途雇用保険による給付制度あり

男性職員の育休の取得率は
令和6年度は52%
(R4 53%、R2 35.3%) 目標値80%

研究費からの「子の出張帯同費用等」の支出

子を出張に帯同させる際の以下の費目について研究費から支出を可能とする
①子の往復の交通費、②子の宿泊費、
③託児費用など
(ただし、支出可能な財源に限る)

R5年度(1月から3月) 利用20件
うち男性の利用件数は2件
R6年度 利用69件
うち男性の利用件数は24件
R7年度(4月から10月) 利用47件
うち男性の利用件数は19件

男性や外国人の利用が増加



第一回東北大学DEI推進フォーラム 「東北大学が目指すDEIとは～サポート現場から～」 (2024/02/28)



DEIセンターの報告とパネルディスカッションの様子



牛尾則文理事（人事労務・環境安全・施設担当）、滝澤博胤理事
（教育・学生支援担当）、大隅典子副学長（広報・ダイバーシティ担当）

関係5部署：

学生相談所、特別支援室、グローバルラーニングセンター、キャリア支援センター、DEI推進センター

- 各取り組みの紹介
- 多様化する構成員の特性や属性、それに伴う現場での対応などを共有
- 連携の重要性を確認
- パネルディスカッション時に学生から直接要望 → **DEIラウンジの設置**



DEI Loungeの新設 “知る、交わる、広がる”

DEI Loungeは、ジェンダー、セクシュアリティ、障がい、人種や民族などあらゆるバリアを乗り越え、お互いが尊重しあう社会の実現に向けて学び、理解を深める場です。DEIに関心を持つ学生・教職員は誰もが利用でき、参加することができます。

時間：毎週水曜日 12：15～16：00

場所：国際交流棟1階

(利用の際にはグランドルールの遵守が求められます)



2024 10/16 (WED)

OPEN!!

DEI LOUNGE

毎週水曜日 / Every Wed.
13:00-17:00

DEI Lounge
オープニングイベント

12:00-14:00
ワークショップ
「話してみない?」
#ジェンダーのまよもや

講師
中林 加南子氏
エル・パーク仙台 管理事業課
菊池 しひろ氏
せんだい男女共同参画財団 総務企画課

会場 国際交流棟 1階
(川内北キャンパス)

申込 定員 30名 締切: 10月9日 (水)
対象: 本学の教職員、学生・大学院生
下記のQRコードより申し込みください。
※定員に達した場合、上記日時の
前に受付を締切する場合があります。

DEI Lounge とは?

DEI Lounge は、ジェンダー、セクシュアリティ、障がい、人種や民族などあらゆるバリアを乗り越え、お互いが尊重しあう社会の実現に向けて学び、理解を深める場です。
DEIに関心を持つ学生・教職員は誰もが利用でき、参加することができます。

“知る、交わる、広がる”
どなたでも利用できます。

DEI Lounge の詳細はこちらから▶

問い合わせ先 東北大学 DEI 推進センター
TEL : 022-217-6092 E-MAIL : dei-center@grp.tohoku.ac.jp



2024年10月16日 オープンの日の様子

参加者からのラウンジへの期待

「何気ない一言を受けとめてくれる場所になってほしい」

「気軽に立ち寄れて話ができる場」

参加者からの声

「DEIを実現するためにはマイノリティの声だけに頼るのではなく、マジョリティにDEIを勉強するチャンスを増やしていく必要がある」

DEIラウンジ セミナー・ワークショップ 2024年度

10月16日	話してみない#ジェンダーのモヤモヤ (エルパーク仙台 中林加南子氏 せんだい男女共同参画財団 菊池しひろ氏)
11月20日	映画上映会 DEI MOVIE SCREENING 「世界は僕らに気づかない」 Angry son
12月25日	Happy Holidays!
2月5日	読書会 『トランスジェンダーQ&A素朴な疑問が浮かんだら』

- ・センターが企画するEventは月1回、それ以外は自由
- ・学生スタッフとも協力しながら企画運営を行う

なお、学生の試験期間、長期休みなどは閉室



11月 DEI Lounge EVENT

2024 **11/20** (WED) **15:00**～
- 映画上映会 -
DEI MOVIE SCREENING



Title
「世界は僕らに気づかない」
Angry son

対象 本学の学部生、大学院生、教職員
Eligibility All members

会場 DEI Lounge
Venue 国際交流棟1階 (川内北キャンパス)
International Exchange Building 1F (Kawauchi-kita Campus)

音声/字幕 日本語のみ / Japanese only
Audio / Subtitle

● 映画詳細 ▶ <https://sekaboku.lespros.co.jp/>

参加無料
free



“知る、交わる、広がる”

DEI Lounge とは？

DEI Lounge は、ジェンダー、セクシュアリティ、障がい、人種や民族などあらゆるバリアを乗り越え、お互い尊重しあう社会の実現に向けて学び、理解を深める場です。

DEIに関心を持つ学生・教職員は誰もが利用でき、参加することができます。

どなたでも利用できます。

DEI Lounge の詳細はこちらから ▶





東北大学 DEI 推進センター
Center for Diversity, Equity, and Inclusion, Tohoku University
TEL : 022-217-6092 E-MAIL : dei-center@grp.tohoku.ac.jp

問い合わせ先
Contact

DEIラウンジ セミナー・ワークショップ 2025年度

5月28日	読書交流会「おススメの本を1冊持ち寄って紹介しませんか？」
6月25日	映画鑑賞会 「燃ゆる女の肖像」
7月16日	アメリカのDEIはいま？ ～現地日本人大学生と語るダイバーシティの現在地～
11月26日	聴覚障害のバリアをこえて、つながろう —Let's enjoy communication!

- ・ セミナー・ワークショップのEventは月 1 回
- ・ DEI推進関連の勉強会なども企画
- ・ **他の部署とも連携**し、学生スタッフとも協力しながら企画運営を行う

交差性も考慮したDEI推進のために、部署を超えた
実務者レベルのDEI推進WGを準備中



11月 DEI LOUNGE EVENT

参加無料 free

2025 **11/26** (WED)
12:30 ~ 14:30 (途中参加・退席可能)
DEI ラウンジの開催は 12:15 ~ 16:00

聴覚障害のバリアをこえて、つながろう —Let's enjoy communication!

対 象 本学の学部生、大学院生、教職員
Eligibility All members

会 場 DEI Lounge 国際交流棟 1 階 (川内北キャンパス)
Venue International Exchange Building 1F (Kawauchi-kita Campus)

言 語 日本語
Language Japanese



“知る、交わる、広がる”

DEI Lounge とは？

DEI Lounge は、ジェンダー、セクシュアリティ、障がい、人種や民族などあらゆるバリアを乗り越え、お互い尊重しあう社会の実現に向けて学び、理解を深める場です。

DEI に関心を持つ学生・教職員は誰もが利用でき、参加することができます。

どなたでも利用できます。

DEI Lounge の詳細は[こちらから](#) ▶





問い合わせ先
Contact

東北大学 DEI 推進センター

Center for Diversity, Equity, and Inclusion, Tohoku University
TEL : 022-217-6092 E-MAIL : dei-center@grp.tohoku.ac.jp

DEIあんしんPROJECT 「誰もが快適な生理を」 (2024/5/13-6/10 実施)

2024年5月13～6月10日 May 13th to June 10th, 2024

DEIあんしん
PROJECT

生理用ナプキン 設置トライアル実施中

Trial for the installation of sanitary
napkins

必要な方はご利用ください

Please feel free to use it if needed

誰もが快適な生理期間を過ごすための取り
組みとしてトライアルを実施しています。

To everyone has a comfortable menstrual period,
we are conducting this trial.



トライアル期間中、ナプキンは定期的に補充しますが、
在庫が無くなった場合はご了承ください。
During the trial, napkins will be replenished regularly, but please note that
they run out of stock, your understanding is appreciated.

2025年 夏オープンキャンパス 2万個無料配布 共同開発の教員の紹介・



生理用ナプキン 無料配布を実施中

必要な方はどなたでもご利用ください

誰もが快適な生理期間を過ごすための
取り組みとして無料配布を実施しています。

在庫が無くなり次第終了となります。
より多くの方が使いになるように必要な分だけお持ちください。

東北大学ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン (DEI) 推進センター
東北大学人事企画部人事企画課 DEI 推進係

川内北キャンパスで実施
アンケート結果をDEI推進委員会へ報告

常設に向けて全学で対応検討

澤柳フェローランチMTG

(2025年6月16日開催)

～富永 悌二総長から女性研究者へのメッセージ～



モノを申せる雰囲気づくりと
ネットワーク構築

～ 東北大学に脈々と受け継がれるダイバーシティの精神を広げる ～

「門戸開放」とい理念を打ち出した初代総長の澤柳政太郎の名にちなみ、東北大学内外に関わらず、アカデミア及び社会におけるジェンダー公正性の推進を含んだダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI）推進を目指す取り組みに多大な貢献をされた方々を顕彰



2025年9月2日授賞式・受賞講演の様子
澤柳記念DEI賞

「消化器外科女性医師の活躍を応援する会」

代表 河野 恵美子氏

澤柳記念DEI奨励賞

「東北大学性を考えるサークルAROW」

代表 根本 浩希氏

第十二回／二〇二五年度

澤柳記念DEI賞

本賞は、東北大学の創立者である澤柳政太郎先生が、門戸開放の理念を打ち出したことにより、東北大学は、多様な人々を受け入れることのできる大学として、国内外に知られるようになった。この精神を継承し、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI）の推進に取り組むことにより、東北大学の発展に貢献することを目的とする。

本賞は、東北大学の内外に関わらず、アカデミア及び社会におけるジェンダー公正性の推進を含んだダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI）推進を目指す取り組みに多大な貢献をされた方々を顕彰する。

受賞内容

A/ 澤柳記念DEI賞
DEIに関する研究や活動のほか、多様な背景を持つ人たちのあらゆる困難に立ち向かい、多様な背景を持つ人たちの活躍を支援する活動について、顕著な成果を挙げている者（個人・団体）を表彰する。

B/ 澤柳記念DEI奨励賞
DEIに関する研究や活動のほか、多様な背景を持つ人たちのあらゆる困難に立ち向かい、多様な背景を持つ人たちの活躍を支援する活動について、顕著な成果を挙げている者（個人・団体）を表彰する。

対象資格

東北大学の内外に関わらず、個人・グループを対象です。本賞に限定し、個人・グループを推薦・推薦します。過去に受賞したことがある方も推薦可能です。

推薦方法

以下の1～3までをすべて満たすことで推薦して下さい。

- 推薦書（下記添付ページに添付してください）
- 受賞推薦書について推薦書（推薦書・推薦書）
- 推薦書（推薦書）

応募締切 2025年6月20日（金）
授賞式・授賞式 2025年9月上旬予定

【詳細ページ】
<https://doi.tohoku.ac.jp/12th/2025/awards/>

東北大学ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI）推進委員会
<https://www.tohoku.ac.jp/dei/>

東北大学ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI）推進センター
<https://doi.tohoku.ac.jp/>

【推薦書提出先・お問い合わせ先】
東北大学 入学生課 入学生企画課 DEI推進係
Tel: 022-817-6032 Email: doi@grp.tohoku.ac.jp

□女性研究者顕彰制度

●紫千代萩賞

・女性研究者の活躍促進、優れた研究成果の創出につなげることを目的に4分野（人社、理工、医歯薬、農生命）の若手女性研究者を顕彰

・猿橋賞の複数の受賞者や、複数の昇任など。受賞者は**創発的研究支援事業**など大型予算に採択、**東北大学プロミネントリサーチフェロー**にも複数名採用



2025年2月6日 受賞者



授賞式・受賞講演後の総長との懇談会

内藤 真帆 文学研究科 准教授	消滅危機に瀕したヴァヌアツ共和国の未解明無文字言語の研究
千葉 杏子 学際科学フロンティア研究所 助教	キネシンの自己阻害異常とヒト疾患の関わりについての研究
佐藤 恵美子 薬学研究科 准教授	低出生体重が及ぼす世代を超えた影響の研究

**現在、第9回 東北大学優秀女性研究者賞
「紫千代萩賞」を公募中**

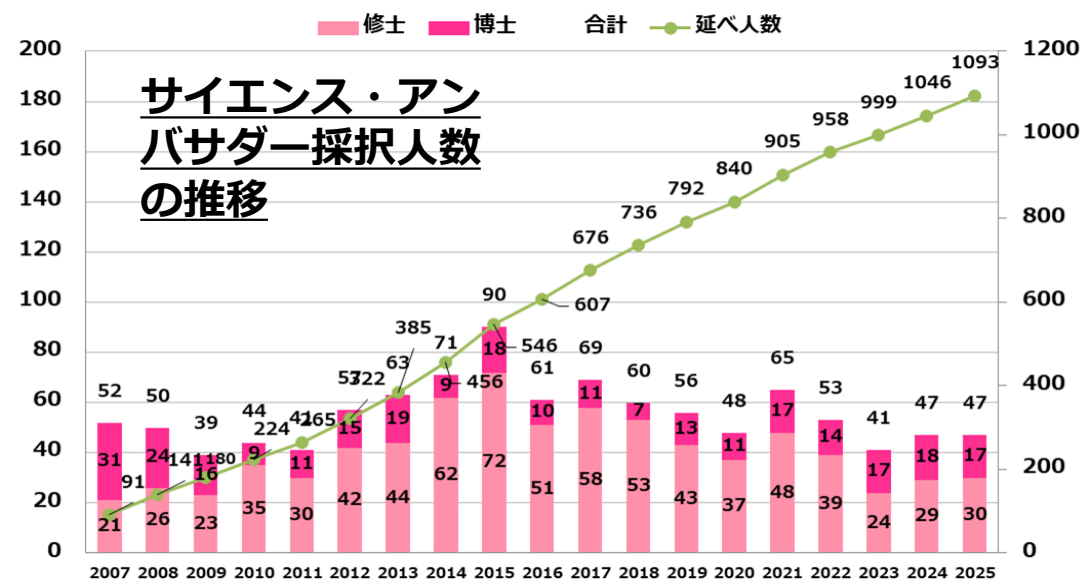
締め切り：2025年11月27日（木）17時（必着）

サイエンス・アンバサダーの活動

(旧：サイエンス・エンジェル)

- 科学の面白さ・楽しさを伝える「大使」小中高生へのロールモデル
- 科学イベント・出張セミナー
- note記事による発信
- 研究者マインドの醸成
- SAOGや協力教員などによるメンタリング
- ネットワーク構築

毎年7月のオープンキャンパスにて「研究者ってなに？～SAオープンキャンパス編」を開催。片平まつりや地域科学イベントなどで地域や社会に貢献



(左、中央) 2025年オープンキャンパスの様子、(右) 片平まつり

2002年度から開講した「ジェンダーと人間社会」→2022年度から2講座に改編
2024年は「ジェンダー共創社会」「インクルージョン社会」を開講

2002年度～：人文社会系として開講

2015年度～：自然科学系まで拡大

2017年度 総長教育賞受賞



●ダイバーシティへの意識啓発

●全学教育の単位

インクルージョン社会：前期・後期2回開講

ジェンダー共創社会：前期のみ

●オムニバス講義

「文系・理系」の専門家 計12～13名

●前期・後期で200名が受講

2023年度～ 開講

**東大、お茶の水女子大学と3大学連携の
集中講義**

「ジェンダード・イノベーション入門」

2025年度 教科書

**「ジェンダード・イノベーション入門」
を上梓予定**

インクルージョン社会

教員	講義題目
田中真美	イントロダクション
高松美能	文化共生社会と人権
大澤絢子	宗教とダイバーシティ
秋山正幸	インクルージブな大学とは
ローツマイア	多様な家族と法
関口雄介	身体的弱者（障害者・高齢者）との共生
石川美希	障がいのある人との共生：聴覚障がいを例に
李善姬	日本における多民族・多文化共生の現状と課題
末松和子	多文化理解と国際共修活動
前川直哉	多様な性と性的マイノリティ
大隅典子	脳の性差とダイバーシティ
矢ヶ崎将之	ジェンダーの経済学入門
佐々木成江	科学とジェンダー～性差分析がもたらす科学技術の発展と多様性の確保～
	グループワーク
	グループワークと期末テスト

ジェンダー共創社会

教員	講義題目
李善姬・鶴田想人	イントロダクション
李善姬	ジェンダーと緊急時リスク
田中重人	家族とジェンダー
神谷哲司	子育て・教育とジェンダー
朝倉京子	ジェンダーとケアワーク
大森駿之介	性の多様性から考えるDEI
中村文子	ジェンダーと人身売買
皆川朋子	女性ヘルスケアの課題とフェムテック
鶴田想人	科学史の中のジェンダー
小川真理子	相談支援とジェンダー
宮崎真理子	生物学的な性、社会的な性から健康と病気を考える
臼井恵美子	経済学における差別の理論モデル
大隅典子	なぜ、理系に進む女性は少ないのか？
佐々木成江	ジェンダード・イノベーション
	グループワーク

～わたしらしく、あなたらしく～

DEI 推進センター

Diversity Equity Inclusion

東北大学DEI推進センターは、生まれた属性や置かれた状況によって不利益を被ることなく、より多くの人が公正に活躍できるように組織の不均等な部分を改善し、一人一人が帰属感を持って学び、働く場づくりに努めています。
学生・教職員、本学関係者は誰でも利用できるセンターですので、ぜひご利用ください。

次世代人材育成に本気

「多様性」を受け入れる学内環境作り

「誰もが輝ける」大学を目指して

DEI: Diversity, Equity & Inclusion

東北大学は、現在のみならず未来の人類の幸福を目指した新たな価値の創造へ向けて多様性、公正性、包摂性(Diversity, Equity & Inclusion: DEI)を推進します。

日本語や日本の社会システムに不慣れな人も安心

ワークライフバランスで研究もライフイベントも両立

「女性だから」「男性だから」の無意識のバイアスを払拭

HPはこちら

詳しい情報は「DEI推進センターHP」でご覧いただけます。

東北大学DEI推進センター (片平キャンパス内 エクステンション教育研究棟1F)
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
TEL 022-217-6092 mail dei-center@grp.tohoku.ac.jp web https://dei.tohoku.ac.jp

多様性と公正性を包摂する教育・研究・就労環境の実現のために

Newsletter

TOHOKU UNIVERSITY Diversity, Equity & Inclusion NEWS

東北大学

東北大学DEI推進センター Vol.5
2025 Oct

「DEI」とは、「Diversity(多様性)」「Equity & Inclusion(公平性と包摂性)」からなる略称(アクリロニム)。東北大学が「真の教育者」の役割を、ムーブメントとして捉えていることを表しています。

Headline News

8月21日は「女子大生の日」 「たまか」うちわと「伊右衛門 特茶」を配布しました

東北大学では、日本で初めて女子大学生を受け入れたという歴史的な出来事にちなみ、8月21日を「女子大生の日」として日本記念日協会に申請し、2020年7月に正式に記念日として登録されました。
今年度は、この記念日をより多くの方に知っていただくことを目的に、初の女子大学生の一人、黒田チカが発見した成分「クルセチン」を配合した「伊右衛門 特茶TOKUCHA」とともに、「女子大生の日」を記念して誕生したサイエンス・アンバサダー(SA)のマスコットキャラクター「たまか」のオリジナルうちわを各キャンパスで配布しました。
配布にはSAも協力し、「女子大生の日」の認知度に関するポード調査も実施しました。その結果、「日本で初めて女子大生が誕生したこと」は広く知られていて一方で、8月21日が「女子大生の日」であることの認知度はまだ低いことが分かりました。
今後この記念日の周知を図るとともに、「女子大生の日」をきっかけとして、女性が安心して学び、活躍できる環境が整っている大学であることを、より多くの方に発信していく予定です。

SAマスコットキャラクター「たまか」
1913年、日本初の女子大生3人が東北帝国大学で誕生しました。その一人、黒田チカはタマネギの外皮色素クルセチンに血圧降下作用があるという大発見をしました。「たまか」は、「タマネギ」と「チカ」を組み合わせて名付けられたサイエンス・アンバサダーの新しいキャラクターです。発芽した玉ねぎで、緑の葉芽は成長する女性の力を象徴しています。電子顕微鏡画像でクルセチン「カゲセキ」で作られた黒子こけしの「たまか」は、夏休み期間にもお披露目され、その親しみやすい姿が関係者の間で広く受け入れられました。今後は、SA活動のさまざまな場面における広報活動で活躍していく予定ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

寄稿者からのメッセージ 張亦弛さん
(2025年度サイエンス・アンバサダー/医学系研究科 修士2年)
「たまか」は、新しい時代を切り拓いてくれる存在で、働きかけにあるのを感じました。どんなときも笑顔で声をかけ、皆さんのそばで希望を届ける存在になれると思います。

関 係 日：2025年8月21日(木)11:30～12:30
配布内容：伊右衛門 特茶TOKUCHA(提供：サントリーウエルネス株式会社)「たまか」うちわ
配 布 数：576セット

「たまか」のこけしを手にする基本線員(右)と田中副学長(左)
※「たまか」の使用については、DEI推進センターにお問い合わせください。

TOHOKU University
Science Ambassador
Activity Report

東北大学サイエンス・アンバサダーとは -About US-

東北大学サイエンス・アンバサダー(以下SA)とは、近代女性研究者の育成を目指して2004年に設置された東北大学サイエンス・エンジェルスで、本学の優秀な女子大学生(学部生が主)をメンバーに招き、学内外に活動の場を広げています。
例えば、SAは小中高生にセミナーやイベントで科学・人文・社会科等に携わる女性研究者の身近なロールモデルとして、科学や研究の面白さと魅力、自身の研究の面白さを発信しています。同時に、SA自身も自身の研究やキャリア・ライフ・スタイル・インフォrmationに関するシンポジウムやパネルディスカッションの機会を通じて自己・他校と交流し、研究者としての使命や意識の醸成に努めています。

Tohoku University Science Ambassadors 2024

活動方針 -policy-

1. 科学や研究の面白さを広く発信し、社会に貢献すること。
2. 科学や研究の面白さを広く発信し、社会に貢献すること。
3. 科学や研究の面白さを広く発信し、社会に貢献すること。

東北大学は日本初の「女子大生」が誕生した大学です

東北大学は、1913年に日本初の女子大生3人が誕生しました。その一人、黒田チカはタマネギの外皮色素クルセチンに血圧降下作用があるという大発見をしました。「たまか」は、「タマネギ」と「チカ」を組み合わせて名付けられたサイエンス・アンバサダーの新しいキャラクターです。発芽した玉ねぎで、緑の葉芽は成長する女性の力を象徴しています。電子顕微鏡画像でクルセチン「カゲセキ」で作られた黒子こけしの「たまか」は、夏休み期間にもお披露目され、その親しみやすい姿が関係者の間で広く受け入れられました。今後は、SA活動のさまざまな場面における広報活動で活躍していく予定ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

SA報告書 (SAが作成)

<https://dei.tohoku.ac.jp/learn/publications/>
刊行物が見られます



作成したリーフレットやニュースレターは新入生や部局や構成員に配布

2025年8月21日 女子大生の日イベント開催 SAキャラクター たまか が誕生



デザインを考案したSAの張亦弛さん（医学系研究科博士課程1年）に、感謝状と記念品の「たまか」こけしを贈呈



こけしは 鳴子温泉川渡
地域づくりユニット
カガモクさんが製作



「たまか」うちわと「伊右衛門 特茶」



「女子大生の日」の認知度に関する調査を行うサイエンス・アンバサダー



「たまか」のこけしを手にする富永総長(右)と田中副学長(左)

日本初の女子大生3人のうちの一人である、黒田チカはタマネギの外皮色素ケルセチンに血圧降下作用があるという大発見をしました。「たまか」は、「タマネギ」と「チカ」を組み合わせで名付けられたサイエンス・アンバサダーの新しいキャラクターです。

- 一女性研究者比率向上加速支援パッケージを実施し、国際レベルの大学組織に
- 一支援制度なども効果を分析しながら、さらに各種支援事業などを実施
- 一DEI推進の組織だけでなく連携を強化し、大学全体としてさらなるDEI推進に取り組む

UREX1

**JAPAN'S FIRST UNIVERSITY
FOR INTERNATIONAL
RESEARCH EXCELLENCE**